

まっすぐ



さわやかな秋晴れの季節となりました。今年度も折り返しとなりましたが、上半期では統一地方選挙におきまして、皆様のお陰で3期目の当選を果たすことができました。2期8年間の皆様のご支援に改めて感謝を申し上げますとともに、今後ともご指導いただきますことも改めてお願い申し上げます。

これからも皆様とともに、輝く三重をつくり、平和な未来を次世代へとつないでいくため頑張っまいります。

引き続きのご支援をよろしくお願いたします。

三重県議会議員 **田中智也**

5月定例会

3期目スタートの役選議会で、私は教育警察常任委員会に所属し委員長を拝命することとなりました。文字通り県教育委員会と警察本部（公安委員会）などを所管しており、未来を担う子どもたちの教育課題や県民の安全や安心の確保についてなど、やり甲斐のある委員会であると考えています。

また、2度目の議会運営委員及び、予算決算常任委員会の理事にも就任しました。最大会派ですが安定多数ではない状況であり厳しい議会運営が予想さ

れることから、この役割は非常に重要です。会派としての主張をしっかりとしていくとともに、議会の安定化にも努めていきたいと考えています。

会派の中では政策局の渉外委員長を務めることとなりました。各種団体などからの政策提言や県政に対する要望を聴き取りながら、具体的な政策として練り上げていきたいと考えています。

6月定例会

上程された「会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条

例案」について議案質疑に立ちました。

現在、全国の県庁や市役所などで臨時や嘱託職員として働く人は約64万人を超え、公務で働く人の2割を占めますが、これまでの地方公務員法では労働条件などは具体的に定められておらず自治体によって取り扱いが異なりました。平成29年に法改正され来年度からは労働諸条件を共通して定めるとともに会計年度任用職員となるものがまっています。詳細については未だ決まっていなかったため、労働条件が改悪されることにならないよう当局に質しました。

教育警察常任委員会にて

【ワンストップサービスの開始に向けて】

「三重県警察関係手数料条例の一部を改正する条例案」は、①消費増税への対応②自動車保有関係手続についてインターネット上で申請や決済ができるシステム(ワンストップサービス)の運用開始に向けて規定を整備する内容となっています。

【犯罪・交通事故対策】

刑法犯認知件数は減少傾向を維持しており、オレオレ詐欺や架空請求詐欺などの特殊詐欺についても件数、被害額ともに減少しているとのことでした。一方で、被害者に占める高齢者の割合は依然高いものがあります。

交通事故情勢については、人身事故や死傷者数は減少傾向にあるものの、交通死亡事故の約5割が高齢者である

ことや、4輪乗車中の死者の87.5%がシートベルト非着用であること。その対策として「高齢者交通安全アドバイス制度」の実施や、毎月11日を「横断歩道“SOS”の日」(SOSは「さわやかな」「横断で」「スマイル」)として定め取り組むとともに、生活道路(制限時速30キロ)などでは可搬式速度違反自動取締装置(移動オービス)を導入し、歩行者等の安全確保をしていくこととしています。

高齢社会が進行するなか、高齢者に寄り添った対策が必要と考えています。

【「三重県教育ビジョン」改定に向けて】

「三重県教育ビジョン」とは三重の教育のめざす姿と実現に向けた取組や目標を示すもので今年度は次期ビジョンが策定されています。

人口減少・少子高齢化、急速な技術革新と超スマート化、人々の関係性の希

薄化やコミュニティの弱体化、格差の拡大や貧困に伴う教育格差など社会情勢は大きく変化しています。またいじめ問題や不登校、児童虐待への早期対応など、学校だけの対応では解決しきれない困難な事例も増加しています。

学力の向上だけに偏ることなく、子どもたちの将来にとって必要な力を身につけていける教育ビジョンとなるよう掘り下げた議論をしていきたいと考えています。

【子どもの読書活動推進に向けて】

「三重県子ども読書活動推進計画」の第四次計画も今年度策定となっています。三重県は1日あたり読書を全くしない公立小・中学校の児童生徒の割合が全国平均より高い傾向にありますが、子どもの読書習慣に関しては、家庭の役割も非常に大きくこの対策も審議していきたいと考えています。



輝く「三重」 平和な未来を

よりよい政策の実現に向けて、
県内外の先進事例の調査を行いました。
どの事例も、とても参考になるもので、
今後の県政に活かせるよう、
私なりに工夫して取り組んでいきます。

名張市立つじが丘小学校

子どもたちがいきいきとつながる コミュニケーション能力の育成について

市から小中一貫教育推進校の指定を受けるとともに、英語教育を切り口としたコミュニケーション能力の育成について研究が進められており、当日は実際の授業を視察し、担当教員から課題についても聴き取りました。

来年度からの英語教育の全面実施に先駆けて、「担任教師が主体的に自信を持って」「子どもたちが必然性を持って」を合言葉に進められていましたが、教員は休暇を活用し自費によるオーストラリア自主研修を行っており、教員個人の努力によって支えられている点も大きいと感じました。

個々の努力には頭が下がりますが、組織として支えられる基盤づくり・対策が必要と感じました。



県立明野高等学校

農産物の安全性や環境保全に関する 認証制度(GAP)の取得について

平成30年にはお茶で「JGAP」、お米で国際的な規格の「グローバル GAP」、平成31年には全国で初めての豚の畜産で「JGAP」を取得しています。生徒たちが主体的に取り組む、後輩へと引き継がれている様子などを聴きながら、彼らの取組を他校へも広げていくべきだと感じました。



茨城県自動車安全運転中央研修所

安全運転を身につける

警察や消防職員、教習所の指導員などが受ける、交通安全運転研修について調査を行いました。雪道や凍結路を再現できるコースや模擬市街路などもあり、クルマの限界や人間の限界も体験することによって安全運転の技能を身につける内容でした。



運転免許センター

生活道路などでの 歩行者の安全確保について

2台導入した移動オービスについて調査しました。これによって生活道路での速度違反取締りが実施されています。先行導入した愛知県では速度抑制効果が出ているようであり、地域住民からの要望に応える形で運用していくことも検討していくべきであると感じました。



仙台市教育局

自分づくり教育について

「仙台自分づくり教育」と題して、「かかわる力」「िकास力」「みとおす力」「みつめる力」「うごく力」を身につけることが「自ら学ぶ意欲を持ち、人や社会との関わりを大切にしながら、将来の社会的・職業的自立に必要な態度や能力を育むこと」につながるという方針で取組が進められていました。点数や偏差値などに偏らない、真に子どもたちに身につけさせたい力を社会全体で認識することの重要性を感じました。



警視庁科学捜査研究所

先端の 科学捜査について

捜査の確実性を高めるための最新機器や技術について調査しました。現場で採取された微小なガラス片や繊維片などを電子顕微鏡で解析する様子や視カメラ画像分析、現場を3D撮影するなど科学的根拠に基づく事件捜査の重要性を改めて感じました。

宮城県立松島高等学校

ふるさとの再生・発展を支える人材育成

地域行事への参画、地元の小中学校との連携がなされ、生徒自身が伝えることの大切さも学ぶような仕組みができていました。観光科は1ヶ月間のホテル実習が課せられており、働くことを通じて「自分で生活する」ということを体験できるものでした。昨年度県外就職者は3名のみであとは全て県内に定着しており県内企業からの評価の高さを感じました。ここまで公立学校が特色化しているということの驚きでした。



一般質問に立ちます！

9月30日(月)午後1時県議会本会議において、一般質問に立つこととなりました。県政の諸課題について、県当局の対応を質してまいります。



三重テレビで放送されますので
ぜひご覧ください！

田中の つぶやき

参議院選挙の低投票率

政治への不信、それに伴う選挙への無関心でしょうか。前回と比較して投票率が下がったということは、以前は期待や希望を、あるいは批判を表現したけれども、今回はしなかったということになります。なぜでしょう。「投票したが何も変わらない、得られない」「投票に意味が見出せない、行くだけ無駄」ということなのでしょう。

社会は大きく変化し課題は複雑化しています。思考停止に陥りそうになり、頭を抱えなくなるような時もあります。政治家ひとりが行動してもすべての皆さんが満足できないかもしれませんが、だからこそ地域や背景など、自分と異なる人も「人」として尊重した上で議論し、より多くの人々が行動しつづければならないと思っています。また近頃は、人そのものが、そして人が持っている権利が軽んじられていることに危機感を感じています。

これからも、何を大切にしていかなければならないかを、できるだけ多くの人とお会いして感じて、自分なりの行動をしていきたいと思っています。